



視察研修



定例会



### 農業青年クラブ(4Hクラブ)とは

農業青年クラブ(4Hクラブ)は、20~30代の若い農業者が中心として活動しています。クラブ員同士の交流や相互訪問などを通して、農業技術の習得や、経営力の向上を図っています。また、農産物の販売や食育活動など、地域に根ざした活動を通し、農業の理解醸成をおこなっています。代表的な活動としては、視察研修、食育授業、農産物販売、相互訪問、研究発表活動などがあり、地域によって、さまざまな活動内容・活動形態をとっています。



### 農業青年クラブの紹介

#### 4Hクラブ

食育授業



農産物販売



研究発表活動



### 成り立ちと、4つのHについて

1948年(昭和23年)に農業改良助長法が制定されたことに伴い、当時のアメリカの青少年農業団体(4Hクラブ)を参考にして、農業改良普及事業の一役を担う組織として設立されました。全国各地で農林省(当時)による4Hクラブ活動の指導が実施され、続々とグループが組織されました。

4Hとは「頭脳(Head)」「技術(Hand)」「心(Heart)」「健康(Health)」の頭文字を表し、それぞれを磨いて農業のよりよい未来を築いていくことを信条としたものです。



## 全国各地での活動

農業青年クラブ(4Hクラブ)は全国各地に存在し、現在約10,000人のクラブ員、670余りのクラブが活動しています。

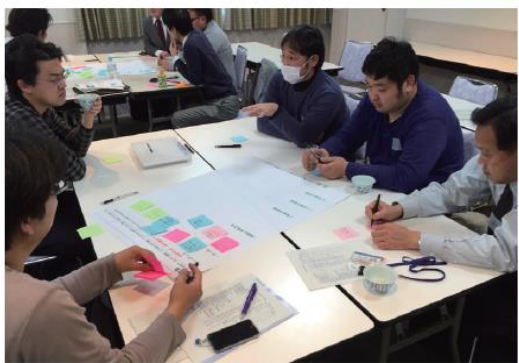
地域ごとに特色ある活動を行なっているほか、相互に連携・情報交換などもおこなわれています。また、研究発表の全国大会等も行われています。



## 関係機関との連携

各都道府県の行政や、農業改良普及センターなどとも連携し、助力を得ながら活動しています。

クラブの運営面でのバックアップのほか、セミナーや視察研修の開催など、連携して地域農業の振興を図っています。



## 新規就農者をはじめ、さまざまな農業者の受け皿としての機能

親元就農、新規就農、農業法人職員等と、農業に携わる形が多様化した現代。

経営形態や販路を超えて、同年代の青年農業者の情報交換の場として機能しています。

## 農業青年クラブでの体験談



### スキルアップ

- 栽培技術を学んだり、販売や経営を学んだりできました。
- 自分とは違う作目の人と話できる貴重な時間。他分野の技術や考え方からヒントをもらえるので、非常に助かる。
- 農場視察に行くと、刺激を受け勉強になります。
- 普段、仕事をしているだけだと得られない情報が、他の農家や普及センターとのコミュニケーションで得られるのがGood!



### 広がる視野

- 地区・県・全国と、地域性・環境の違いによる経営のやり方を見る事が出来、また他の経営を見る事を通して自分の地域の強みと弱みを知る事ができた。
- 4Hに入って最初の頃は、何が楽しいんだろう?とっていました。ですが活動に参加していくにつれ、視野も広がっていきました。仕事も一緒だと思います。4Hクラブはその感覚を養えるいい場所。
- 農業に対する違う考えを聞くことも、自分のモチベーションに繋がります。



### 仲間づくり

- 1人で向き合いがちな農業と言う仕事に、農業青年の仲間が多く、の気付きと勇気を与えてくれる、大学のような場所。
- いい意味でヤンチャな人と出会えたりするのが面白いところ。
- 農業への想い、経営や技術の悩みを共有することができる。
- 農業を初めたばかりの人から社長まで、いろんな人がいて一緒に活動する事に意味があると思います。

【活動内容に対するご質問・入会のご希望など】お問い合わせ先